

いじめについて

3年1組3番 植木涼介

Keyword: 「いじめ」「インターネット」「不登校」「将来」

1. はじめに

なぜ私がこのテーマを探究しようと思ったかという、いのちのかがやきゼミ、という名前なのに、人の命に対して探究している人がいなかったからです。私は、近年いじめはとても大きな問題に発展していると思います。いじめによる自殺者の増加や、不登校者の増加が問題となってきています。いじめと言ってもたくさん種類があるのですが、将来的に増加するであろういじめについて考えようと思った結果、インターネット関係のいじめについて考えることになりました。近年のインターネットは秘匿性や匿名性が上昇しているので、そこに関する認識を少しでも広げていこうと思います。

2. 序論

(探究活動の目的)

私はこの活動を通して、インターネットに疎い人にも”インターネットいじめ”という種類のいじめがあることを皆さんに認知してほしいと思ったからです。

「インターネットなんだから無視すればいいじゃん」などと思う人もいると思いますが、近年技術の発達によってインターネットはただの娯楽ではなく、”なくてはならないもの”へと進化していると感じています。実際に現金非対応のお店やインターネット銀行などが普及してきています。したがってインターネット、主にSNSは人生に直接影響を及ぼすものではないのではなく私たちのすぐ近くにあるということを認知してもらいたいと思い探究に踏み切りました。

(調べたこと、行動したこと)

途中成果発表などでたびたび述べましたが、近年の中学生のネットトラブルが増加していることを述べましたが数字だけでは一桁パーセントだったとしても、母数が全国規模なので数パーセントの増加でもかなり多い人数の変動があると考えられます。また2022年度、日本での不登校者数が最大に達したことが報告されています。この件においての理由として、どの学生層でも上位にあったのが人間関係です。引用:文部科学省の令和4年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より。

私はこれらを見て、インターネットでのトラブルが大きく関与しているのではないかと考え、インターネット関連のアンケートを実施することにしました。

3. 本論

アンケートの実施、校内でのプレゼンテーション、意見交換などを通してたくさん考える機会を得ました。アンケート内容として、匿名性を重視し、3つの質問をしました。

1 中学校に入学してからSNS等インターネットでいじめに該当しそうなものを見たことがありますか？

2 中学校に入学してから自分がネットトラブルに巻き込まれたことがありますか？

3 中学校に入学してからインターネットのせいで人間関係が悪くなったことはありますか？

この三つを自分の母校の中学校でアンケートを実施しました。全体では97人が回答しました。

結果としましては、質問1は全体としてははいが17人いいえが80人、質問2ははいが9人いいえが88人、質問3ははいが9人いいえが88人、という結果になりました。また、各学年の割合としまして、中学生1年生の質問1、はい8人いいえ25人、質問2、はい3人いいえ30人、質問3、はい3人いいえ30人。中学2年生、質問1、はい5人いいえ27人、質問2はい2人いいえ30人、質問3、はい1人いいえ31人。中学3年生の質問1、はい4人いいえ28人、質問2、はい4人いいえ28人、質問3、はい5人いいえ27人。という結果となりました。この結果を見て私が感じたことは質問1に関して、年齢が上昇すればするほど、はいと答える人の割合が少なくなっていることを受けて、インターネットであれどもいじめはいじめ、という認知が低下しているのではないかと考えました、また質問2と3に関してはいじめを受けた、と感じると、相対的にいじめに関係している人との人間関係が悪くなってしまおうということを感じました。また他に、校内アンケートも別で実施しました。内容としてはインターネットで自分自身がいじめに合っていると感じた経験はあるか質問しました。アンケートを受ける層としては国際高校の3年生を対象としています。結果としては、はい(9.4%)いいえ(89.1%)その他(わからない)になりました。この結果を見て、私が感じたことは、意外にも「はい」に投票した人が多かったことです。実際私は現状を甘く仮定しており、いじめられていると回答する人なんていないだろうと思っていました。しかし実際は9.4%という結果でかなり驚かされました。

プレゼンテーションの実行

校内で2回ほどプレゼンテーションを行いました。クイズ形式にしてみたり、ゲームを取り込んだりして、どの世代にも理解されるよう努めました。結果としてゲームの方は好評でしたが、かかってしまう時間のせいで聞き手の人たちに飽きを感じさせてしまうという結果になりました。

4. これからの考察

私が考えるこれからはネットリテラシーの低下によるいじめが恒常化することで個人情報漏洩などの被害が増加していくと思われます。今でさえSNSでの本名流出や住所特定、誹謗中傷など、一昔前では珍しいと思われていたことも今では容易になっています。特定を生業とする業者まで存在しています。我々がこれからやっていくべきことは、こういういじめがあるんだなで終わるのではなく、いじめの現状と防止方法をしっかりと伝えていく必要があると考えました。